

バイパスの整備にともない沿道への出店、アパート・マンションの建設が増加

国道29号津ノ井バイパス(鳥取県)の開通で
地域が活性化

・津ノ井バイパスの開通で、バイパス沿線地域の利便性が飛躍的に向上。

バイパスの開通の効果

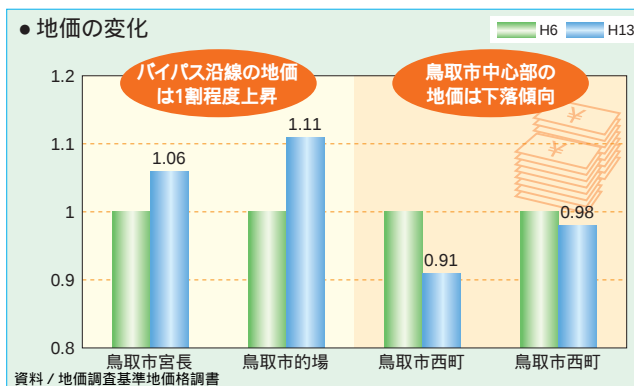
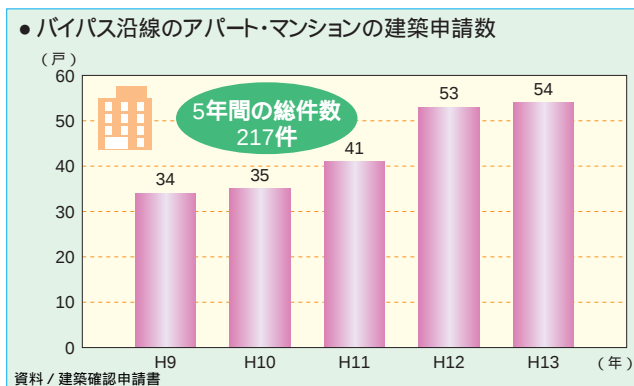
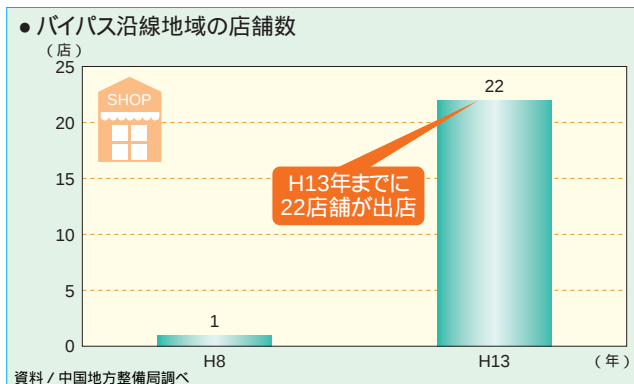
- ・平成13年までに沿線に沿道サービス型店舗が22店出店。
- ・沿線地域でアパート・マンションの建築が相次ぐ。
平成8～13年(5年間)のアパート・マンションの建築申請件数は約220件。
- ・全国的な地価下落傾向のなかで、バイパス沿線の地価は1割程度上昇。

鳥取市中心部の地価:

平成6年→平成13年の伸び率 = 0.91 ~ 0.98

津ノ井バイパス沿線の地価:

平成6年→平成13年の伸び率 = 1.06 ~ 1.11



● 上空から見た津ノ井バイパス

